

6月28日も東京電力管内で電力需給が厳しくなる見込みのため引き続き節電のご協力をお願いします【電力需給ひっ迫注意報（第3報）】

2022年6月27日

▶エネルギー・環境

本日6月27日（月曜日）、東京電力管内の電力需給が厳しくなる見込みであるため電力需給ひっ迫注意報を発令中ですが、明日も夕方時間帯を中心に予備率が5%を下回る見込みですので、引き続き電力需給ひっ迫注意報を継続します。

暑い時間帯には適切に冷房等を活用し、水分補給を行うなどして、熱中症にならないよう十分に注意しつつ、使用していない照明を消すなどの無理のない範囲での節電をお願いします。また、15時～18時の時間帯は、特に厳しい電力需給が想定されています。冷房等を活用し、熱中症には十分に注意しつつ、できる限りの節電をお願いします。

1. 電力の需給の状況

本日6月27日（月曜日）は、歴史的な厳しい暑さが続く中で、東京電力管内の電力需要は、東日本大震災以降、最も高い水準で推移しています。明日28日（火曜日）も厳しい暑さが見込まれており、電力需要は、この時期としては稀な極めて高水準で推移すると見込まれますので、引き続き電力需給ひっ迫注意報を継続します。

火力発電の増出力や、連系線を活用した電力の融通など、明日もあらゆる供給力対策を実施する予定ですが、明日28日（火曜日）も、16時～17時の時間帯などで予備率が5%を下回るなど、電力需給は厳しい状況が続く見込みです。

2. 節電のご協力のお願い

明日も、暑い時間帯には引き続き冷房等を活用いただきつつ、使用していない照明を消すなど、無理のない範囲での節電をお願いします。また、事業者のみならずにおかれましても、熱中症にならないよう十分注意しつつ、照明の間引きや使用していない機器の電源を切るなど、本日と同様、特に15時～18時の時間帯を中心に、できる限りの節電をお願いします。

[こちらのサイト](#)に具体的な節電の取組を掲載されていますので参考にしてください。

- ・ [＜参考＞東京電力パワーグリッド「でんき予報」](#)

担当

資源エネルギー庁電力・ガス事業部

電力基盤整備課長 小川

担当者： 武部、馬西、嶋田、門田

電話：03-3501-1511(内線 4761)

03-3501-1749 (直通)

03-3580-8591 (FAX)